

令和元年度  
1月号

# 学校へ行こう！

椎葉小  
学校便り

## 新年明けましておめでとうございます

2020年がスタートしました。

新しい元号「令和」となって初めてのお正月。

「今年は、どんな年？」と聞かれれば、おそらく「『東京オリンピック』が行われる年」と挙げる人が多いのではないかと思います。

始業式の際に、子どもたちにも聞いてみましたが、同様の反応でした。

そのとき、「パラリンピックもセットにしてほしい」という話をしたところです。

「オリンピック・パラリンピック」が、世界各国の様々な人々が「障がいの有無を超え」、スポーツ交流する祭典であることを考えさせたかったからです。

子どもたちが10年後遭遇すると想定されている社会のキーワードのひとつに「多様性」があります。

子どもたちには、将来、国と国との違い、人種の違い、文化の違い、障がいの有無、考え方や生き方の違いなどを認め合い、よりよい人間関係や社会を形成していくことが求められています。

それらに対応していくため、4月から外国語教育・プログラミング教育、道徳の教科化等で話題になっている新学習指導要領による指導が本格化します。

先生方は昨年中も、具体的な指導のあり方について研修を重ね、試行錯誤しながら準備を進めてきました。

計画通りに授業や行事が実施できればいいのですが、天候やその日そのときの子どもたちの実態によっては、臨機応変に対応することが求められます。

「計画性」と「臨機応変」、相反するような言葉ですが、これ私の今年の目標です。



## 2月の行事予定

- 5日(水) 誕生日給食
- 6日(木) 全校朝会
- 7日(金) 小崎小交流、縄跳び集会
- 11日(火) 建国記念の日
- 14日(金) 小学校入学説明会
- 16日(日) 生涯学習フェスティバル
- 17日(月) クラブ活動見学
- 20日(木) 環境タイム(一人一鉢)
- 21日(金) 卒業式練習
- 23日(日) 天皇誕生日
- 24日(月) 振替休日
- 27日(木) 卒業式全体練習・委員会活動
- 28日(金) 劇団四季鑑賞(5年生:延岡市)
- 29日(土) スポーツ少年団お別れ大会

### 大逆転は起こりうる。

**わたしは、その言葉を信じない。**

**それでも人々は無責任に言うだろう。**

**小さな者でも大きな相手に立ち向かえ。**

**誰とも違う発想や工夫を駆使して戦え。**

**今こそ自分を貫くときだ。**

**しかし、そんな考え方は馬鹿げている。**

**勝ち目のない勝負はあきらめるのが賢明だ。**

**わたしはただ、為す術もなく押し込まれる。**

**土俵際、もはや絶体絶命。**

ここまで読んでくださったあなたへ

文章を下から上へ、一行ずつ読んでみてください。逆転劇が始まります。

\*2020年「わたしは、私。」西武・そごうの広告より引用

